

問題1 * (a)~(d)にあてはまる式を答えよ。(1+2+3+4=10点)

$\sin \frac{\pi}{8}$ の値を求めたい。 $\cos \frac{\pi}{4} = \frac{1}{\sqrt{2}}$ は知っているので、半角の公式を使う。

まず、加法定理 $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$ において $\alpha = \beta$ として、 を得る。

ここで、 $\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1$ を使って $\cos^2 \alpha$ を消去して、 を得る。

これを $\sin^2 \alpha$ について解くと、 $\sin^2 \alpha =$ を得る。

ここで $\alpha = \frac{\pi}{8}$ として、 $\sin \frac{\pi}{8} > 0$ に注意すれば、 $\sin \frac{\pi}{8} =$ を得る。

(a) $\cos 2\alpha = \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha$

(b) $\cos 2\alpha = 1 - 2\sin^2 \alpha$

(c) $\frac{1 - \cos 2\alpha}{2}$

(d) $\frac{\sqrt{2 - \sqrt{2}}}{2}$

問題2 *** (10点)

$0 \leq x \leq \frac{3}{2}\pi$ のとき、 $\sin\left(x + \frac{\pi}{3}\right) + \sin x$ の最小値と最大値を求めよ。

$$\begin{aligned} \sin\left(x + \frac{\pi}{3}\right) + \sin x &= \frac{1}{2} \sin x + \frac{\sqrt{3}}{2} \cos x + \sin x \\ &= \sqrt{3} \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \sin x + \frac{1}{2} \cos x \right) \\ &= \sqrt{3} \sin\left(x + \frac{\pi}{6}\right) \end{aligned} \tag{1}$$

$0 \leq x \leq \frac{3}{2}\pi$ より、 $\frac{\pi}{6} \leq x + \frac{\pi}{6} \leq \frac{5}{3}\pi$ なので、

$x + \frac{\pi}{6} = \frac{\pi}{2}$ のとき $\sin\left(x + \frac{\pi}{6}\right)$ は最大値 1 をとり、

$x + \frac{\pi}{6} = \frac{3\pi}{2}$ のとき $\sin\left(x + \frac{\pi}{6}\right)$ は最小値 -1 をとる。

したがって、 $x = \frac{\pi}{3}$ のとき $\sin\left(x + \frac{\pi}{3}\right) + \sin x$ は最大値 $\sqrt{3}$ をとり、

$x = \frac{4\pi}{3}$ のとき $\sin\left(x + \frac{\pi}{6}\right)$ は最小値 $-\sqrt{3}$ をとる。

問題 3 ** (10 点)

関数 $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ は、

$$f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

で定義される。

$f(x) = \sin x$ の導関数を、上の定義式にしたがって計算せよ。

ただし、公式 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ および $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$ を使ってよい。

$$\begin{aligned} (\sin x)' &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\sin(x+h) - \sin x}{h} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\sin x \cos h + \cos x \sin h - \sin x}{h} \\ &= \sin x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\cos h - 1}{h} + \cos x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\sin h}{h} \end{aligned} \quad (2)$$

ここで、

$$\begin{aligned} \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\cos h - 1}{h} &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(\cos h - 1)(\cos h + 1)}{h(\cos h + 1)} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\cos^2 h - 1}{h(\cos h + 1)} \\ &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{-\sin^2 h}{h(\cos h + 1)} \\ &= - \left(\lim_{h \rightarrow 0} \sin h \right) \left(\lim_{h \rightarrow 0} \frac{\sin h}{h} \right) \left(\lim_{h \rightarrow 0} \frac{1}{\cos h + 1} \right) \\ &= -0 \times 1 \times \frac{1}{2} = 0 \end{aligned} \quad (3)$$

より、

$$(\sin x)' = \cos x \quad (4)$$

問題 4 ** (10 点)

2^{100} は何桁の数か？ ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010 \dots$ を使ってよい。

2^{100} が n 桁の数であるとする、 $10^{n-1} < 2^{100} < 10^n$ が成り立つ。これの対数を取ると、 $n-1 < \log_{10} 2^{100} < n$ であり、 $\log_{10} 2^{100} = 100 \log_{10} 2 = 30.1 \dots$ なので、 $n = 31$ を得る。したがって、 2^{100} は 31 桁である。

問題 5 ★ (3+3+4=10 点)

$\alpha = 2 - 3i, \beta = 3 + i$ とする。以下の式を、 $x + iy$, (x, y は実数) の形に計算せよ。

(5-1) $2i\alpha - 3\beta = -3 + i$

(5-2) $\alpha\beta = 9 - 7i$

(5-3) $\frac{\alpha}{\beta} = \frac{3}{10} - \frac{11}{10}i$

問題 6 ★ (2+2+3+3=10 点)

以下の複素数の絶対値を求めよ。

(6-1) $2 + 3i$

$$|2 + 3i| = \sqrt{13}$$

(6-2) $-5i$

$$|-5i| = 5$$

(6-3) $(1 - i)(1 + 2i)(4 - 3i)$

$$|(1 - i)(1 + 2i)(4 - 3i)| = |1 - i||1 + 2i||4 - 3i| = \sqrt{2}\sqrt{5}5 = 5\sqrt{10}$$

(6-4) $\frac{(1 - i)(3 + 4i)(7 - 5i)(3 - 8i)}{(7 + 5i)(2 - i)(3 + 8i)}$

$$\begin{aligned} \left| \frac{(1 - i)(3 + 4i)(7 - 5i)(3 - 8i)}{(7 + 5i)(2 - i)(3 + 8i)} \right| &= \frac{|1 - i||3 + 4i||7 - 5i||3 - 8i|}{|7 + 5i||2 - i||3 + 8i|} \\ &= \frac{|1 - i||3 + 4i|}{|2 - i|} \\ &= \frac{5\sqrt{2}}{\sqrt{5}} \\ &= \sqrt{10} \end{aligned}$$

問題 7 ★★ (10 点)

$\alpha = \sqrt{2} + \sqrt{6}i, \beta = 1 - i$ とするとき、 $\frac{\alpha^6}{\beta^8}$ を計算せよ。

$$\alpha = 2\sqrt{2} \left(\frac{1}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2}i \right) = 2\sqrt{2}e^{i\frac{\pi}{3}}, \beta = \sqrt{2}e^{-i\frac{\pi}{4}} \text{ より、}$$

$$\alpha^6 = 2^9 e^{i\frac{\pi}{3} \times 6} = 2^9 e^{2\pi i} = 2^9,$$

$$\beta^8 = 2^4 e^{-i\frac{\pi}{4} \times 8} = 2^4 e^{-2\pi i} = 2^4 \text{ より、} \frac{\alpha^6}{\beta^8} = 2^5 = 32.$$

問題 8 ★★★ (10 点)

オイラーの公式 $e^{ix} = \cos x + i \sin x$ を使って、三倍角の公式

$$\begin{aligned}\cos 3x &= 4 \cos^3 x - 3 \cos x, \\ \sin 3x &= 3 \sin x - 4 \sin^3 x\end{aligned}$$

を証明せよ。

$$\begin{aligned}\cos 3x + i \sin 3x &= e^{3ix} \\ &= (e^{ix})^3 \\ &= (\cos x + i \sin x)^3 \\ &= \cos^3 x + 3i \cos^2 x \sin x - 3 \cos x \sin^2 x - i \sin^3 x \\ &= (\cos^3 x - 3 \cos x \sin^2 x) + i(3 \cos^2 x \sin x - \sin^3 x) \\ &= (4 \cos^3 x - 3 \cos x) + i(3 \sin x - 4 \sin^3 x)\end{aligned}\tag{5}$$

実部と虚部を比べて与式を得る。

問題 9 ★ (5+5=10 点)

(9-1) 2つの直交するベクトルの内積がゼロになるのはなぜか？

- 1 . 射影がゼロになるので。
- 2 . $\cos \pi/2 = 0$ なので。

(9-2) 2つの平行なベクトルの外積がゼロになるのはなぜか？

- 1 . 二つのベクトルが作る三角形の面積がゼロになるので。
- 2 . $\sin 0 = \sin \pi = 0$ なので。

1の図形的な説明でも、2の数式による説明でも、どちらでもよい。

問題 10 ★ (2+3+2+3=10 点)

3次元空間内の3点O, A, Bの座標を, O:(0, 0, 0), A:(2, -1, 1), B:(-3, 0, 1)とする。

ベクトル \vec{a}, \vec{b} を、 $\vec{a} = \overrightarrow{OA}, \vec{b} = \overrightarrow{OB}$ で定める。

(10-1) \vec{a} と \vec{b} の内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を計算せよ。

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = -6 + 0 + 1 = -5$$

(10-2) \vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とするとき、 $\cos \theta$ の値を求めよ。

$$|\vec{a}| = \sqrt{6}, |\vec{b}| = \sqrt{10} \text{ より、} \cos \theta = \frac{-5}{\sqrt{6}\sqrt{10}} = -\sqrt{\frac{5}{12}}.$$

(10-3) \vec{a} と \vec{b} の外積 $\vec{c} = \vec{a} \times \vec{b}$ を計算せよ。

$$\vec{c} = (-1 - 0, -3 - 2, 0 - 3) = (-1, -5, -3)$$

(10-4) 3点 O, A, B を通る平面の方程式を求めよ。

求める平面上の任意の点を $P = (x, y, z)$ とすると、 \vec{c} と \vec{OP} は常に直交するので、 $\vec{c} \cdot \vec{OP} = -x - 5y - 3z = 0$ が成り立つ。したがって、求める平面の方程式は、

$$x + 5y + 3z = 0$$

となる。